



『東京 2020 : 10 万人プロジェクト  
～東京で 10 万人食べていける明日を～』

## SBS グループ、フードバンクを物流で支援 ～セカンドハーベスト・ジャパンと SBS ホールディングスが活動支援覚書を締結～

日本初のフードバンク団体であるセカンドハーベスト・ジャパン（本部所在地：東京都台東区、以下 2HJ）はこのたび、物流事業を中核とする企業グループを率いる SBS ホールディングス株式会社と、2HJ のフードバンク活動の支援に関する覚書を締結しました。具体的には、2HJ で企業・団体から寄贈食品を引き取るニーズが発生した場合、SBS ロジコムをはじめとするグループのトラックに空きスペースがあればそれを利用して食品を引き取って 2HJ の配送拠点まで無償で輸送していただくほか、2HJ の倉庫運営や車両運行全般に関するご助言・ご提案もいただきます。

2HJ は現在、2020 年の 1 年間に東京都内で 10 万人、神奈川・埼玉で 6 万人に対し「生活を支えるのに十分な食べ物」を渡すことができるフードセーフティネットの構築を目標とする、「東京 2020 : 10 万人プロジェクト」を推進中です。この目標の達成には寄贈食品の大幅増とともに、食品の引き取りから支援先への輸送までの物流インフラの整備・拡充が急務です。一方、寄贈される食品の量や種類は一定ではなく、限られた運営資金の中でその上限にあわせてトラックやドライバーを確保するのは難しいのが現状です。そうした中、SBS グループという物流のプロフェッショナル企業からの支援は課題解消への大きな弾みとなります。

一方、SBS グループは事業戦略と一体化した CSR 活動を推進しており、社会貢献活動においてもその領域を広げようと積極的に取り組まれています。このたびの 2HJ の活動への支援について、SBS ホールディングス株式会社 CSR 推進部 佐川次長は次のように述べています。「事業を通じた社会貢献を探っていたところ、2HJ が物流支援を求めていることを知り、お声掛けさせていただきました。私共にとってフードバンク活動の一端を担わせていただけることは名誉であり励みにもなります。フードセーフティネット構築に少しでも寄与できるよう支援を続けてまいります。」

以上

### 【SBS グループについて】

SBS グループ（持株会社：SBS ホールディングス株式会社 代表取締役社長 鎌田 正彦／東京証券取引所市場第一部（証券コード：2384））は、1987 年の創業以来、物流ならびに物流に付帯するサービスを充実させ、ワンストップの物流サービスをご提供することで、お客様の利益創造に貢献してまいりました。グループ内には、食品から超重量物までさまざまな商品を扱う企業群、路線、区域、即日配送まで多様な配送形態にお応えできる企業群、そして、物流施設開発、環境物流などの専門的な企業群を有しています。

HP：<http://www.sbs-group.co.jp>

### 【セカンドハーベスト・ジャパンについて】

セカンドハーベスト・ジャパン（2HJ、2018 年 4 月より認定 NPO 法人）は、日本で初めてのフードバンクです。まだ賞味期限があるにも関わらず、様々な理由で売ることのできない食品を集めて、必要な方たちへお渡ししています。日本でのフードセーフティネットの構築を目的とし、児童養護・母子支援・障害者支援等の福祉施設や生活困窮者などに食品の提供を行っています。

HP：<https://2hj.org/> Facebook：<https://www.facebook.com/2ndharvestjapan/?fref=ts>

Twitter：<https://twitter.com/2ndharvestjapan>



SECOND  
HARVEST

セカンドハーベスト・ジャパン

<寄付・支援などに関する企業・団体からのお問い合わせ先>

セカンドハーベスト・ジャパン

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 4-5-1 水田ビル 1F

TEL: 03-5822-5371 / FAX: 03-5822-5372

お問い合わせ用メールアドレス、専用フォームなどはこちらから：<https://www.2hj.org/contact/>

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

セカンドハーベスト・ジャパン 広報担当：伊藤（090-2489-4480、PR@2hj.org）